

「自治会セミナー」に参加しました!

学生自治会は、以下の目的のもと、全日本学生自治会総連合（以下、全学連）が主催する「自治会セミナー2011」に役員2名が参加してきました!

<概要>

- 日時……9月5日（月）から9月7日（水）
- 場所……信州大学松本キャンパス
- テーマ……「全国と心ひとつに、学び、交流し、元気が出る自治会セミナー」

<学生自治会の参加目的>

- 他大学の学生自治会と情報交換を行うことで、現在の自治会活動を見直し、新たな活動を模索する
- 上記と同様に情報交換を行うことで、「現在の学生自治会に求められていることは何か」「より学生のためになる学生自治会とは何か」を再考する

以下では、自治会セミナーの内容を紹介していきます。

1日目 (9/5)

1日目は、全学連委員長の藤浦さんより、全学連の上半期の活動報告である基調報告が行われた後、佐貴浩氏に

よる記念講演が行われました。その後に行われた分散討論では、少人数の班に分かれて基調報告や記念講演に関して意見交換を行いました。その中で、他大学の学生自治会の活動を聞くことができました。

○基調報告

○記念講演 講師：佐貴浩（法政大学教授）

「いま考えよう～大学での学び・震災後の社会～」

○分散討論

基調報告

→ 上半期の他大学の学生自治会の活動報告に加え、今回は東日本大震災があったことを受け、東日本大震災の影響を受けた現地の状況や、そういった社会情勢の中で学生自治会に求められることなどについての話をうかがいました。

記念講演

→ 現代社会や、その中での「責任」について、また「大学」「大学の学び」などについての講演が行われ、その中で学生自治会としてどのような活動を行っていくべきかを考えることができました。

2日目 (9/6)

2日目は、全員で学生自治会に関して根本から考え、学び直す「自治会そもそも論」からはじまりました。

その後、各学生自治会の活動と、その成果に関する報告である「とりくみ報告」や、現在の全国の学生を取り巻いている問題に関する「学習分科会」が行われました。加えてその後に行われた分散討論では、各内容に関する考えを深めることができました。

- 自治会そもそも論
- とりくみ報告
- 学習分科会
- 分散討論

自治会そもそも論

→ 「学生自治会とは何か」「学生自治会としての活動とは何か」「現代社会で学生自治会に求められている役割とは何か」などについて考え、学び直しました。

とりくみ報告

→ 他大学の学生自治会がどのような活動を行っているのかをうかがうことができました。その中で学生自治会の役割や、東京農工大学での「『サマータイム』の撤回」といった学生自治会としての活動の成果を再認識し、活動の参考とすることができました。

学習分科会

→ 「大学改革と高等教育予算」「日本の学費」といったテーマの学習分科会に参加しました。それぞれの分科会で、今後の学生自治会の活動の参考となる内容を学びました。特に「大学改革と高等教育予算」では、現在の大学をとりまく社会情勢を見つめ直し、その中で学生自治会として行っていくべき活動について考えることができました。

3日目 (9/7)

3日目は、自治会活動を進める上で、実践的な工夫・経験を学び、各大学のとりくみの前進につなげるための「実践分科会」からはじまりました。この分科会はA・Bの2回行われ、そのそれぞれで今後の自治会活動の参考になる事柄を学ぶことができました。そして最後に、セミナーを通したまとめの報告が行われました。

- 実践分科会 A・B
- まとめの報告

実践分科会

→ 「当局交渉」「要求実現への道」「学生自治会の再建・建設」「執行部建設」といったテーマの実践分科会に参加しました。特に「当局交渉」では、大学運営に学生の意見を反映させていくためにはどのような活動が必要なのかを考えることができました。